

# 介護福祉士国家試験 受験資格の柔軟化

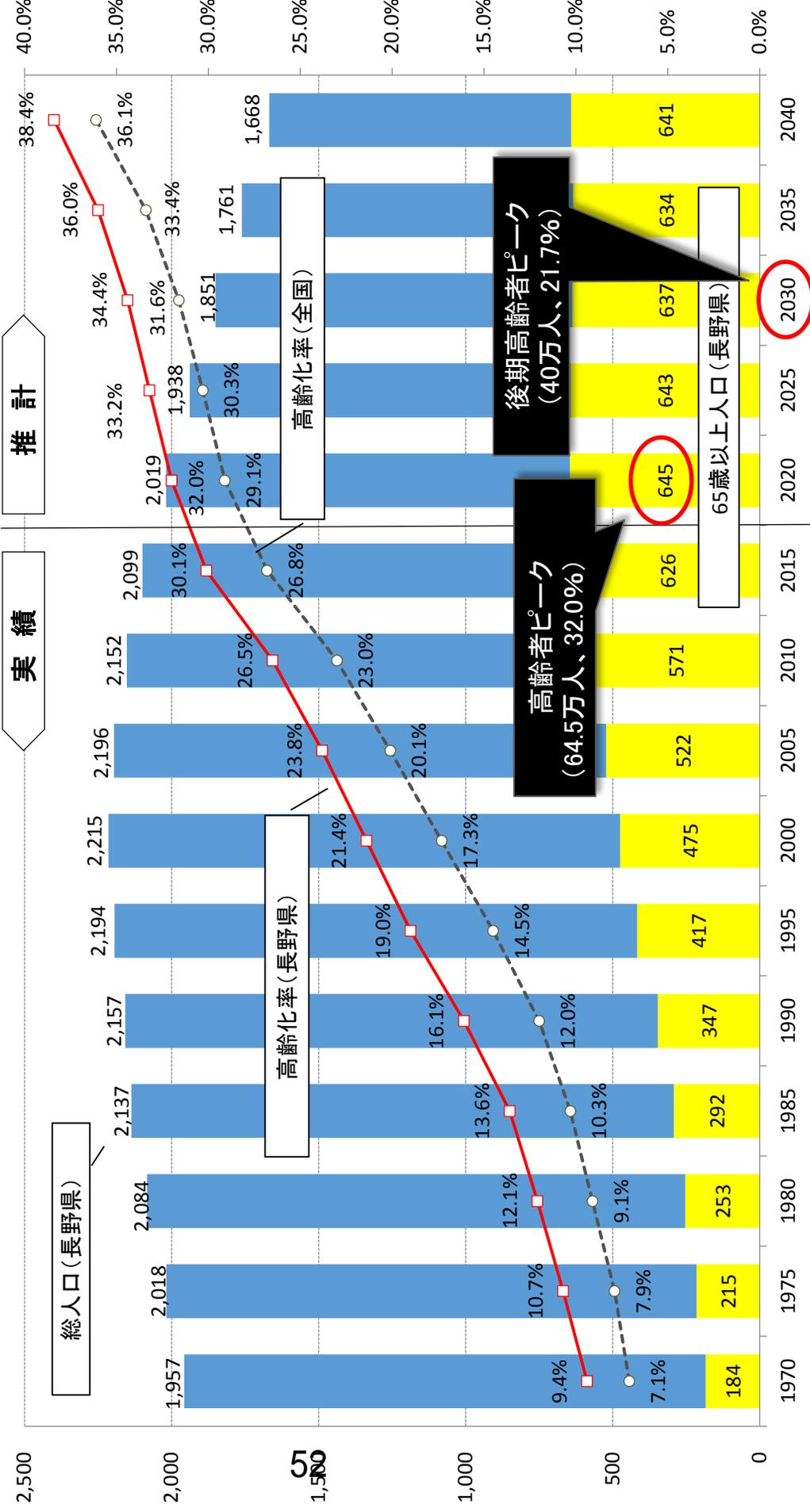
平成29年7月14日

長野県



# 1-1. 長野県の人口と高齢化率の推移

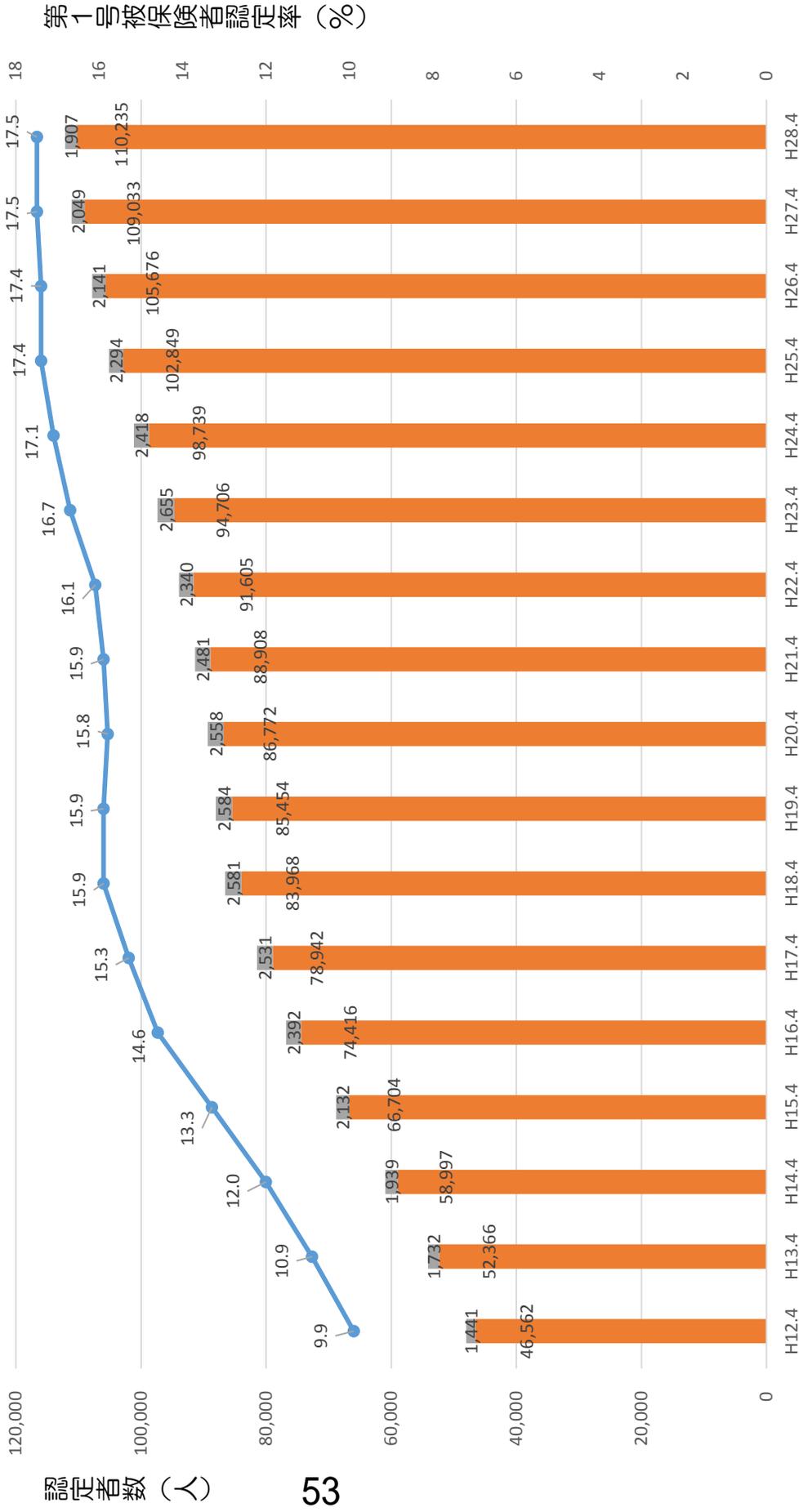
長野県の人口は約208万人、65歳以上の割合は31.0%（H29年4月）、全国を上回る水準で高齢化が進む。更に高齢化は進行する見込み。



〔出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成25年3月推計）中位推計」〕

# 1-2. 要介護・要支援認定者数の推移

長野県内の要介護・要支援認定者数の推移



# 1-3. 介護サービス事業者の指定状況

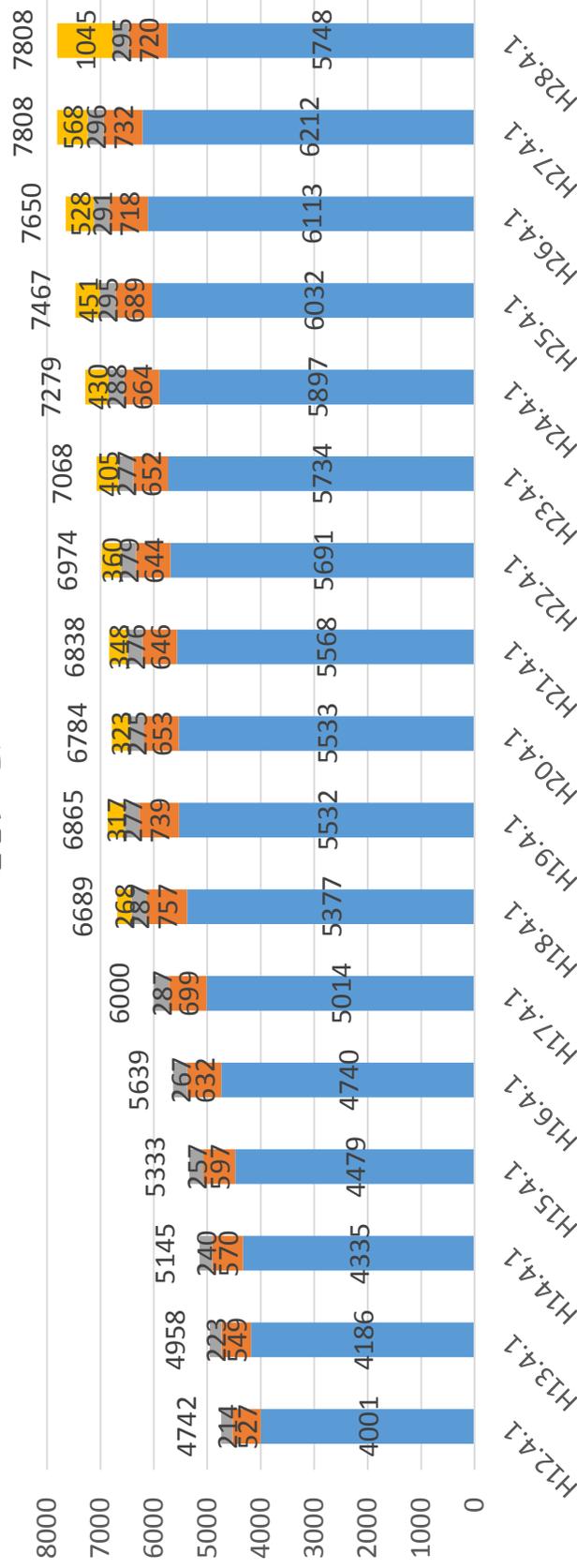
◇ 指定(許可)件数 総数 7,808 (平成28年4月1日現在)

(内訳) 居宅サービス 5,748  
 居宅介護支援事業 720  
 施設サービス 295

地域密着型サービス等市町村長指定分 1,045

## ◇ 介護サービス事業者の推移

■ 地域密着型サービス等市町村長指定分  
 ■ 施設サービス  
 ■ 居宅介護支援  
 ■ 居宅サービス



(出典:長野県介護支援課調べ)

## 1-4. 少子高齢化の進展と介護需要の増加

長野県の少子高齢化は急速に進展し、介護需要も増加今後、さらに拡大が見込まれる。

◇ 要介護・要支援認定者数

(見込み)

H26(2014)年 約10.8万人 ⇒ H37(2025)年 約13.7万人に増加

↑  
10年間で **1.3** 倍に増加  
↑

55

◇ 介護需要を支える介護職員も数多く必要

(見込み)

H26(2014)年 約3.4万人 ⇒ H37(2025)年 約4.6万人が必要

↑  
10年間で **1.2** 万人の確保が必要  
↑

※このまま何も対策を講じない場合 H37には **約8,000** 人が不足

(出典:長野県「第6期高齢者プラン」)

# 1-5. 介護人材不足の状況

◇ 介護分野の有効求人倍率は高止まり

区分(年度平均)	H25	H26	H27	H28
長野県	1.53	1.91	2.09	<u>2.34</u>
全国	1.91	2.31	2.68	2.57

(出典:厚生労働省・長野労働局「職業安定業務統計」)

◇ 介護福祉士国家試験の受験者及び合格者数の減少

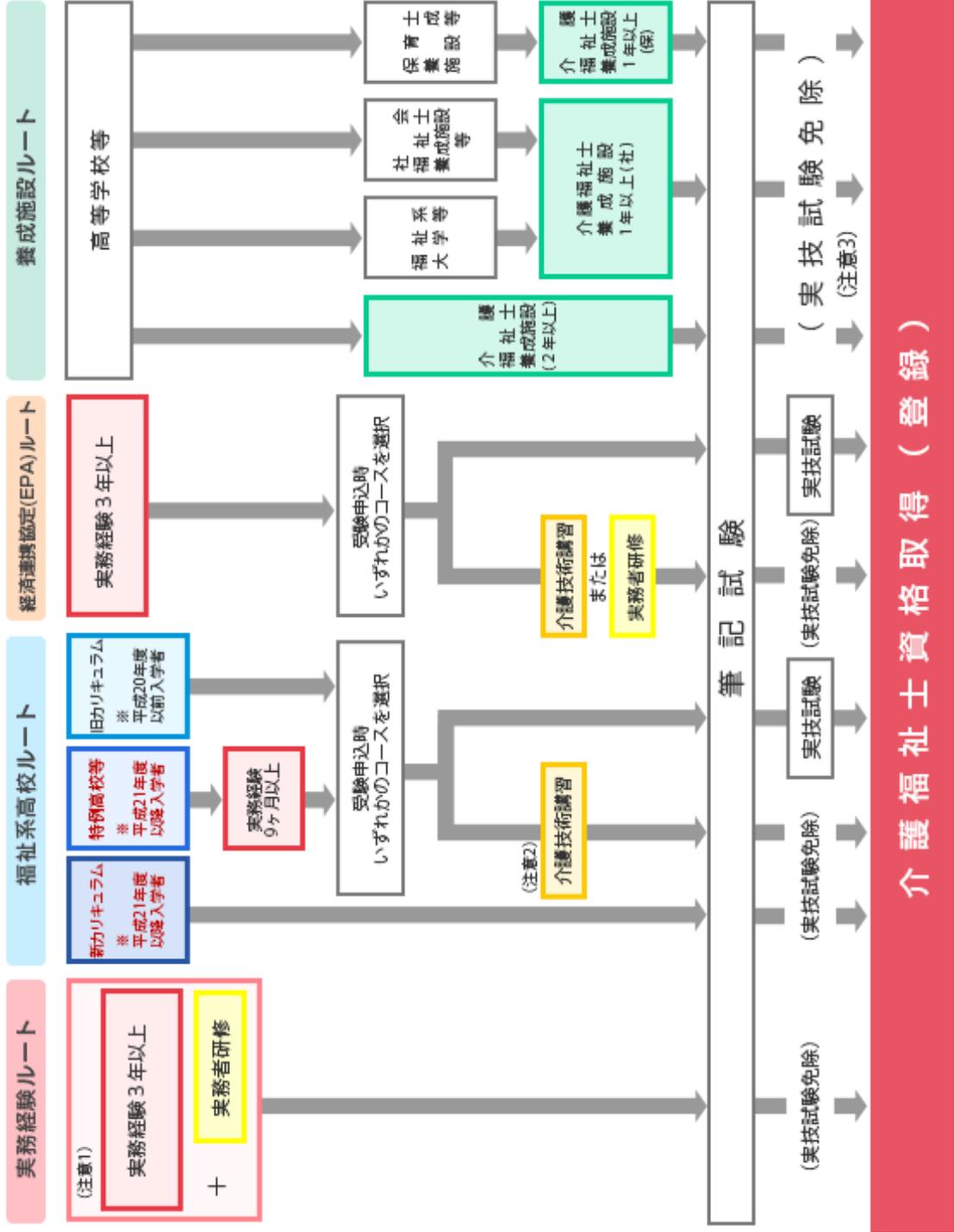
	H27	H28
受験者数(人)	長野県	-
	全国	152,573
合格者数(人)	長野県	1,497
	全国	88,300

(出典:厚生労働省)

※受験者数の減少は、  
受験資格の厳格化に伴うもの。

**介護人材の確保が喫緊の課題！**

# 2. 介護福祉士受験資格の概要



(出典:公益財団法人社会福祉振興・試験センター)

## 3-1. 現状での支障事例（1/3）

- 平成19年の法改正により、高等学校において介護福祉士国家試験の受験資格を得るための指定科目単位数が1.5倍（34単位⇒53単位）に増加
- 普通科目単位を圧迫することから、福祉系学科・コースを持つ高等学校でも、「福祉系高等学校」（以下、指定校）の要件を満たすことは困難となった。

58

参考：県内の福祉系の学科等がある高等学校

- 福祉系の学科のある私立高校（2校）：受験資格を取得可能
- 福祉系の学科のある公立高校（1校）：受験資格の取得不可
- 福祉系のコース（系列）をもつ公立高校（13校）：受験資格の取得不可

## 3-2. 現状での支障事例（2/3）

- 指定校以外では、福祉系学科・コースのある高等学校卒業業者であっても、受験資格を得るには、介護福祉士養成施設（以下「養成施設」という。）において2年間1,850時間の指定科目を履修することが必要
- その際、高等学校で学習した内容についても改めて学習しなければならない。



**学習内容の重複！！**

## 3-3. 現状での支障事例（3/3）

### 長野県立高校のカリキュラム例

	科目	単位数 (高校3年間)
普通教育	国語、数学 など	58～60
専門教育 (福祉)	社会福祉基礎	4・6
	介護福祉基礎	4
	コミュニケーション技術	4
	生活支援技術	5
	介護総合演習	3
	こことからただの理解	4
	課題探究	3
合計		87

27 ～ 29 単位

## 4-1. 提案事項 (1/2)



高等学校と養成施設が連携し、

① 高等学校で福祉系科目を修得した場合、養成施設における単位への読み替えを可能にすることを求めます。

単位取得の効率化

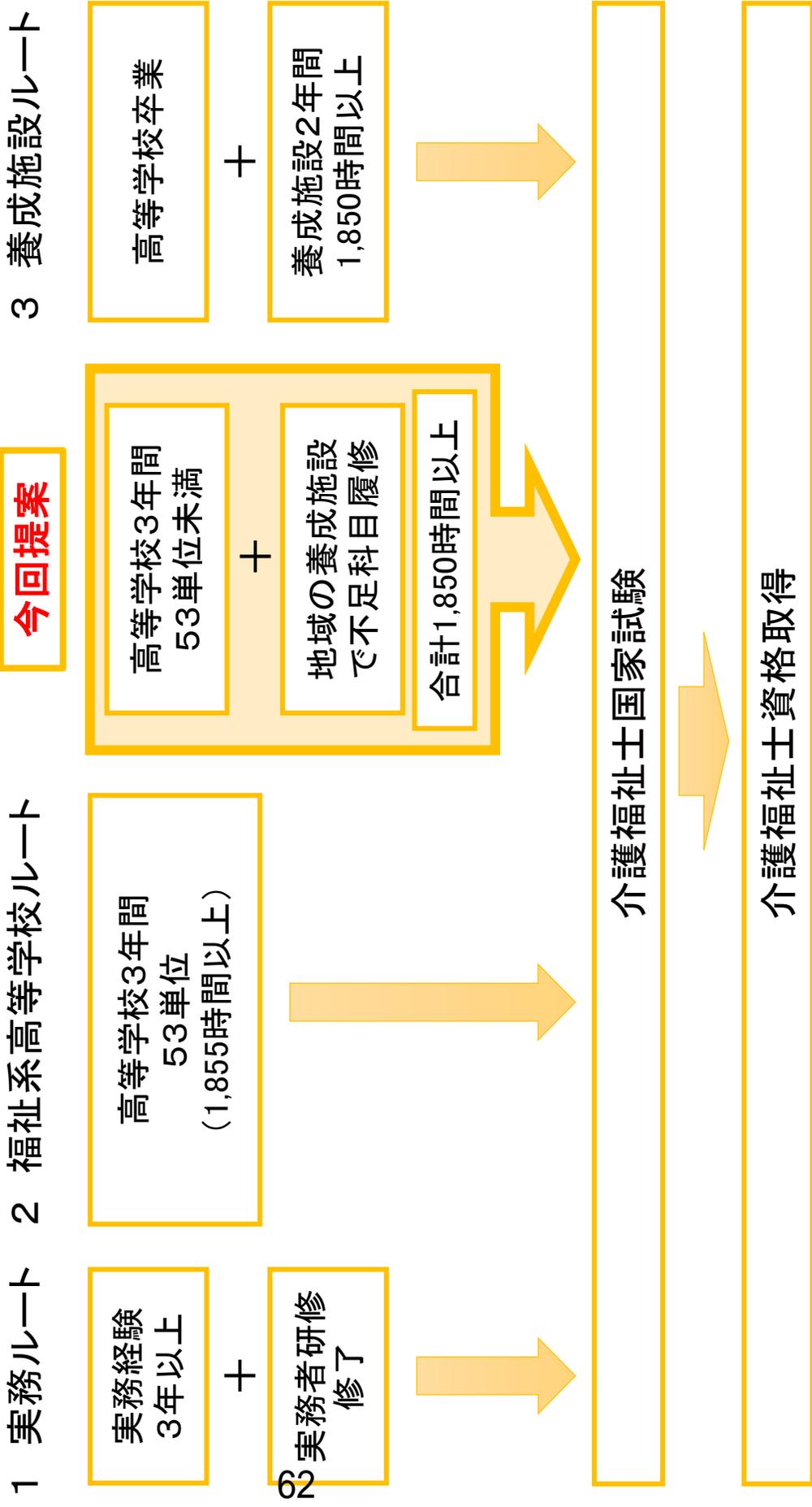
61

② この読み替えによって介護福祉士試験受験資格（養成施設ルート）に不足する単位を養成施設で修得したとき、養成施設の卒業前であっても介護福祉士試験を受験できる措置を求めます。

資格取得の早期化

# 4-2. 提案事項 (2/2)

## 《介護福祉士養成ルート》



## 5. 期待される効果

質の高い介護人材の効率的な養成のほか、

- 地域の高等学校と養成施設が連携して介護人材を養成することで、地域で必要な介護人材を、地域で育成・養成していく体制の構築が期待できます。
- 高等学校において生徒が十分な基礎知識・教養を習得した上で、将来の国家資格取得につながるキャリア形成を行うことができ、もって介護分野への参入促進が期待できます。